

霊媒の書「スピリチュアリズムの真髄」

―現象編―

アラン・カルデック

訳者まえがき

アラン・カルデックの生涯と業績

序文

第一部 序説

第一章 霊の実在

第二章 驚異的現象と超自然現象

第三章 説諭に際しての心得

第四章 さまざまな説……心霊現象が教えるもの

一 詐術説

二 低能説

三 幻覚説

四 人工音説

(一) 物的エネルギー説

(二) 知的エネルギー説

4
6
8
11
16
21
29
30
30
30
31
31
32

第二部 本論

第一章 物質界への霊の働きかけ

第二章 テーブル現象

第三章 知的要素の加わった物理現象

第四章 物理的心霊現象のメカニズム

第五章 アポーツの原理……突発的な場合と実験的な場合

第六章 物質化現象

第七章 生者の幽霊現象と変貌現象

第八章 見えざる世界の実験室

第九章 霊が好む場所・出やすい時刻

第十章 自動書記現象の種々相

① 受動書記(器械書記)

② 直覚書記(直感書記)

③ 半受動書記

④ 靈感書記

(三) 集団的精神作用説
……
33
(四) 夢遊病説
……
33
(五) 悪魔説
……
34

38
43
46
49
58
69
77
83
90
95
95
96
96
96
96

第十一章	靈媒能力の特殊性と危険性	102
第十二章	靈能者のモラルの問題	111
第十三章	低級靈に憑依されるまでの三つの段階	115
(1)	しつこく付きまとわれる	115
(2)	幻惑される	115
(3)	憑依される	116
第十四章	靈の身元と靈格の問題	122
一	生前の身元の証明はどこまで可能か	122
二	靈格の程度と正邪の見分け方	123
第十五章	招靈にまつわる様々な問題	133
第十六章	靈に尋ねる質問の規範	147
	——尋ねてよいこと・いけないこと	147
(一)	一般論として	147
(二)	未来のことに関する質問について	148
(三)	過去世および来世に関する質問について	150
(四)	世俗的問題に関する質問について	151
(五)	他界後の靈の状況について	154
(六)	健康に関する質問について	155
(七)	発明・発見に関する質問について	156

(八)	他の天体ならびに死後の界層に関する質問について	157
第十七章	通信の内容に矛盾が生じる諸原因	159
	訳者あとがき	165